

かながせこうぐち
7. 金香瀬坑口

■ 指定日

昭和54年12月4日

■ 種別

史跡

■ 年代

明治時代

■ 所在地

朝来市生野町小野 史跡生野銀山

■ 所有者

三菱マテリアル(株)



■ 内容

明治元年(1868)、政府はフランス人鉱山技師コワニエに生野鉱山を視察させ、その報告により官行が決定した。以後20数名のフランス人技師を招へいして生野鉱山の機械化、近代化を進めた。

金香瀬坑口は、明治5年(1872)頃からフランス人技師によって設計され、再開発が始まったとされる坑口で、大きさの異なる石を加工しアーチを組む。開口部は約8フィート(2,450mm)、坑内に幅2フィート(610mm)の軌道が走り、ヤードポンド法に近い値になっている。